

2010年2月期 第3四半期

---

決算説明資料

---

2009年3月～2009年11月



株式会社 エスケイジャパン



代表取締役社長 久保 敏志

(証券コード:7608)

# SKグループ事業内容(2009年11月30日現在)

 SK JAPAN CO.,LTD.  
(Stock code:7608)



- ・アミューズメント業界向け販売部門
- ・SP(販売促進)部門
- ・ECサイト(インターネットショッピング)部門

#### 主要販売先

- ・アミューズメント施設  
(路面店、量販店・メーカー系オペレーター等)
- ・一般企業、広告代理店等



- ・物販業界向け卸販売部門

#### 主要販売先

- ・キャラクター雑貨専門店
- ・GMS(総合スーパー)
- ・テーマパーク等

## SK JAPAN GROUP



- ・キャラクターグッズの企画開発、販売

#### 主要販売先

- ・家電量販店
- ・ホームセンター、雑貨専門店
- ・ディスカウントストア



- ・小売事業

#### 店舗数:3店舗

- ・心齋橋店
- ・広島本通り店
- ・松山銀天街店

# 業績報告

# 2010年2月期 第3四半期業績

## 連結

(単位:百万円)

	09/03-09/11	08/03-08/11	前年同期比
売上高	6,879	6,648	103.5%
売上総利益 (売上総利益率)	1,920 (27.9%)	1,646	116.6%
営業利益 (営業利益率)	248 (3.6%)	△339	—
経常利益	281	△372	—
純利益	369	△381	—

卸売事業の好調により、売上総利益率は3.1ポイントアップ

# 2010年2月期 第3四半期業績

単体

(単位:百万円)

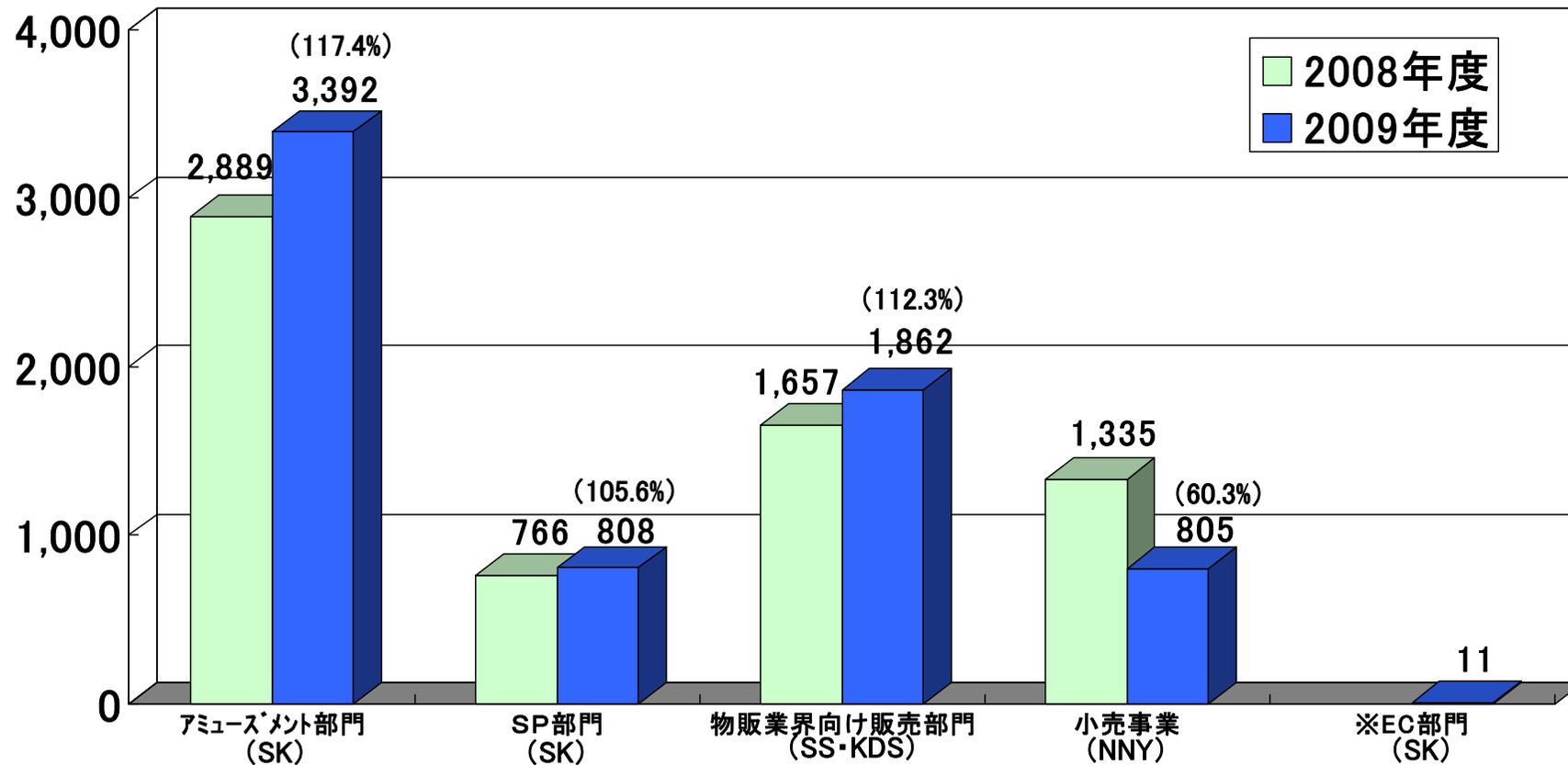
	09/03-09/11	08/03-08/11	前年同期比
売上高	4,246	3,690	115.1%
売上総利益 (売上総利益率)	1,178 (27.8%)	840	140.3%
営業利益 (営業利益率)	201 (4.8%)	△204	—
経常利益	255	△222	—
純利益	307	△208	—

アミューズメント業界向け売上高は前年同期比117.4%

# 連結売上高の内訳(部門別)

3月～11月部門別の売上高 (前年比)

(単位:百万円)



※EC(インターネットショッピング)部門は2009年4月よりスタートした新事業です

現在楽天市場に2店舗、Yahoo!ショッピングに1店舗出店をしております

# 要約連結貸借対照表

**【資産の部】**
**【負債・純資産の部】**

(単位:百万円)

項目	09年11月 30日現在	08年11月 30日現在	項目	09年11月 30日現在	08年11月 30日現在
流動資産	2,933	3,052	流動負債	2,026	2,377
			固定負債	114	111
			負債合計	2,140	2,488
			資本金	440	440
固定資産	1,171	1,502	資本剰余金	471	471
			利益剰余金	1,081	1,193
			純資産合計	1,965	2,066
資産合計	4,105	4,555	負債・純資産 合計	4,105	4,555

**在庫金額は556百万円と前年同期比73.3%に減少**

# セグメント別事業報告

# セグメント別ハイライト

## 【アミューズメント業界向け販売部門】

- 引き続き他店舗展開しているオペレーターへの販売を強化するため、商品企画段階からの提案営業の強化。
- 「まるねこくらぶ」、「でぶねこ」、「スウィートベア」をはじめとする自社企画商品や他の有名キャラクター商品等がヒットし、売上高の増加と利益率の改善に貢献。
- 売上高は3,392百万円(前年同期比 17.4%増)

## 【SP業界向け販売部門】

- 雑誌の付録や外食チェーン店向けキャンペーン商品のOEM等が決まる。
- 売上高は808百万円(前年同期比 5.6%増)

## 【物販業界向け販売部門】

- 12月映画公開を控えたワンピースの人気の高まりにより、コンビニエンスストア向けホビー商材の大型案件が決まり、また雑貨専門店・ディスカウントストアでもワンピースコーナーを導入し、好調であった。加えて前年発売し好調であった腹巻を、今期はキャラクターを更に増やし発売したところ大きく伸長した。
- 売上高は1,862百万円(前年同期比 12.3%増)

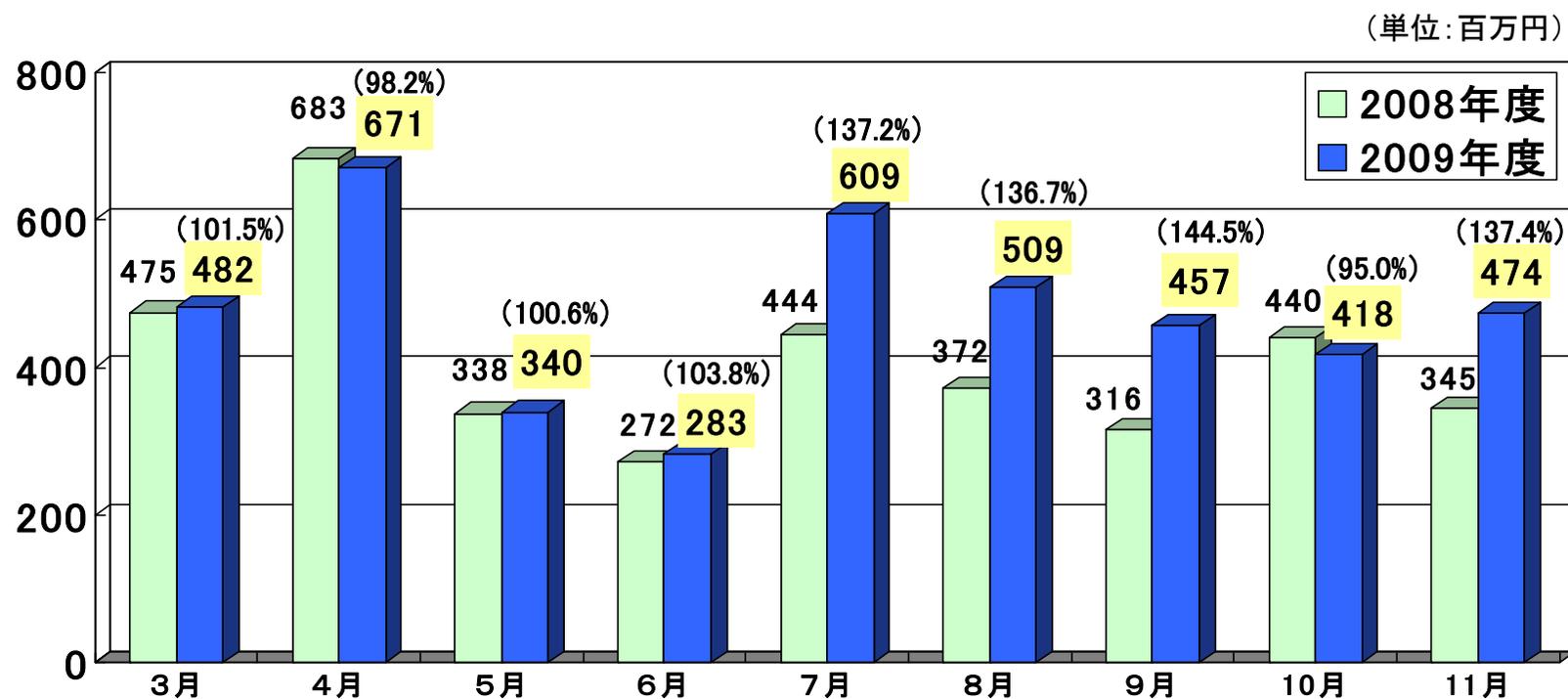
## 【小売事業】

- 「NAKANUKIYA+on」心斎橋店は、赤字幅は縮小したものの黒字には至らず、広島本通店も若干の赤字となった。また、松山銀天街店においては、若干の黒字となった。

この結果、売上高は805百万円(前年同期比39.7%減)となったが、不採算店舗を閉鎖したことにより、営業損失は20百万円(前第3四半期連結累計期間は158百万円の営業損失)と138百万円の改善となった。

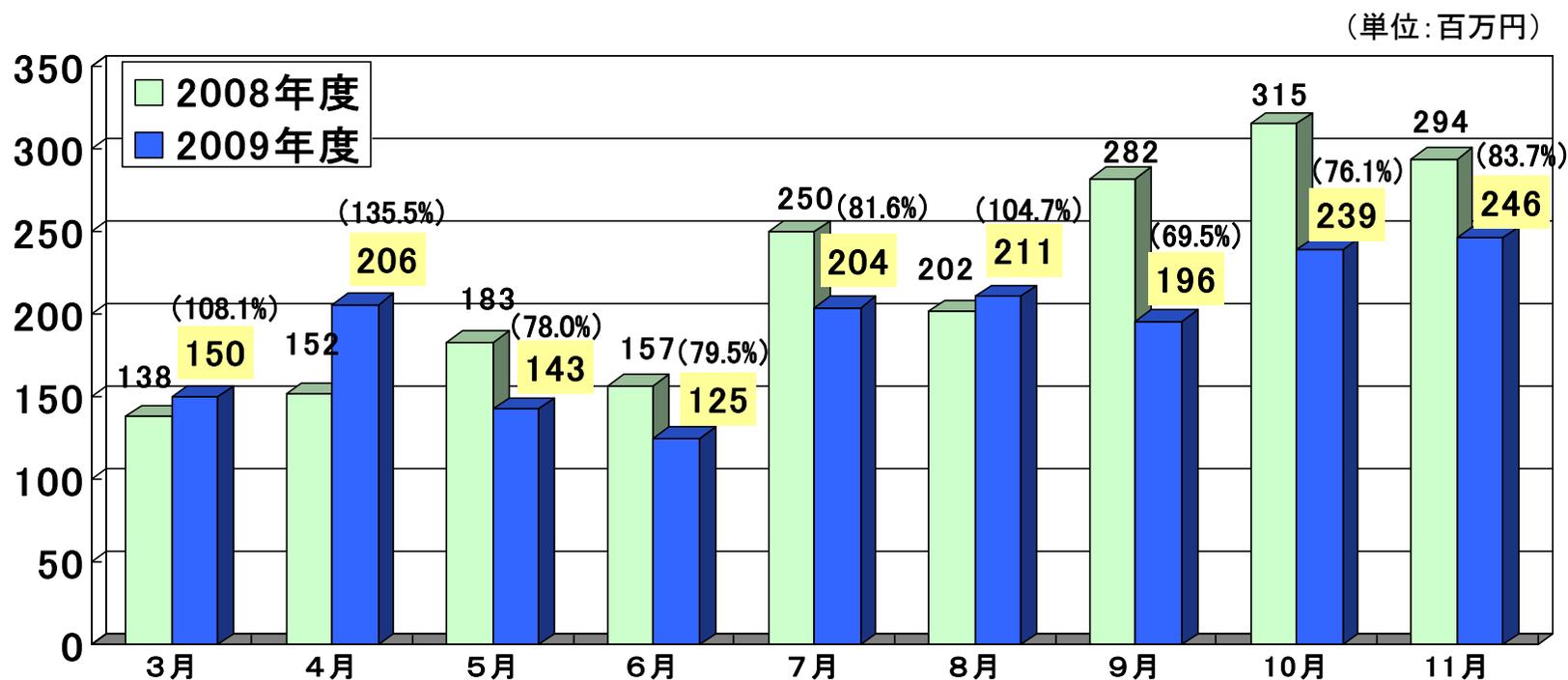
# エスケイジャパン 売上高の推移

3月～11月 売上高の推移(前年比)



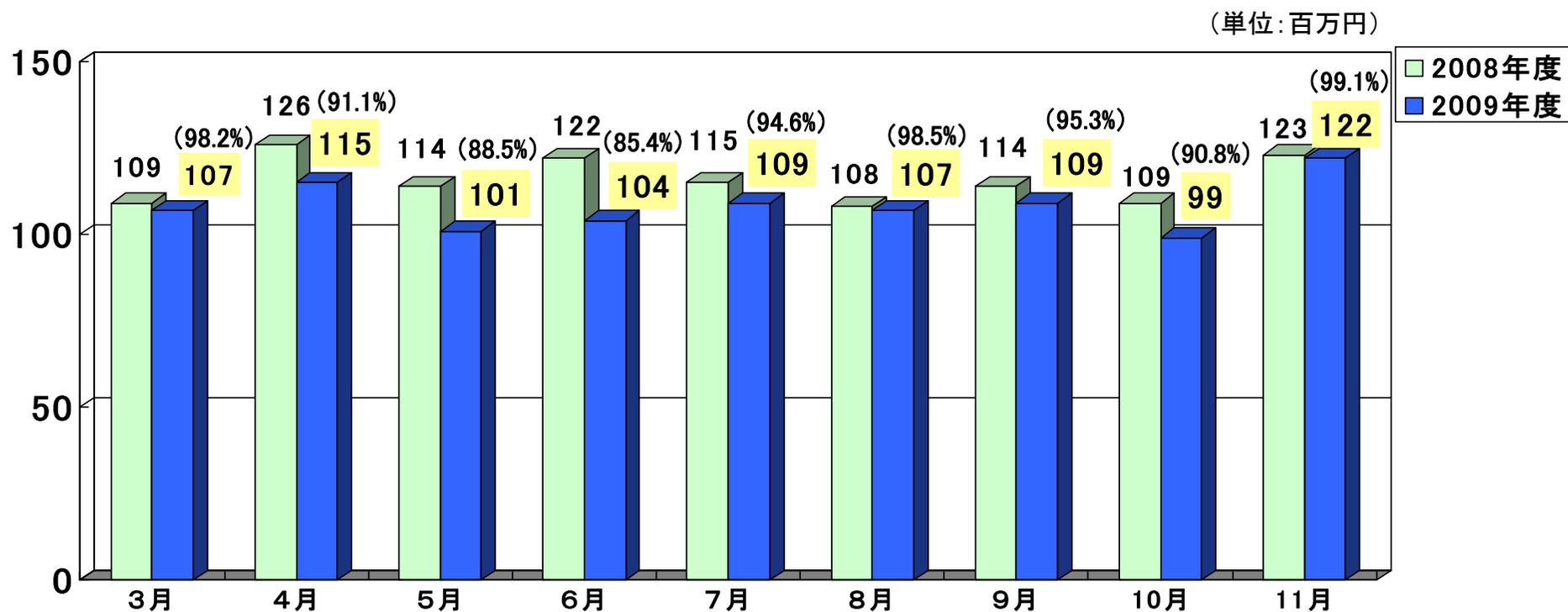
# エスケイジャパン 在庫金額の推移

3月～11月 在庫金額の推移(前年比)



# エスケイジャパン 販売管理費の推移

3月～11月 販売管理費の推移(前年比)



## 卸売事業の施策と進捗状況(ECサイト部門)

### 【3つのショッピングサイトがOPENし、運用がスタート！】

■ PlayOne-プレイワン- × 楽天 (2009年4月1日OPEN) 男性向けショッピングサイト  
URL : <http://www.rakuten.ne.jp/gold/playone/>

■ GlamOne-グラムワン- × 楽天 (2009年4月1日OPEN) 女性向けショッピングサイト  
URL : <http://www.rakuten.ne.jp/gold/glamone/>

■ PushOne-プッシュワン- × Yahoo! (2009年4月24日OPEN) 総合ショッピングサイト  
URL : <http://store.shopping.yahoo.co.jp/pushone/>

### 【今後の展開について】

1. 取扱い商品点数の拡大
2. 他モール(Yahoo!・楽天以外)への出店検討
3. 自社ECサイトの構築
4. 自社オリジナル商品の企画・開発の強化
5. 上記に伴う、人材・設備の増強

### 【来夏頃の本格稼働を目指し米国進出！】

#### 米国進出の可能性

- ・ メーカー系ロケーションや複合施設オペレーターの 海外進出
- ・ 未成熟、未開拓の市場
- ・ 米国での日本キャラクターブーム
- ・ 米国ではピザハットに数多くのクレーンゲームが設置され80年代後半から広く認知されている



国内でのアミューズメント業界販売部門で培った商品づくりのノウハウの水平展開、海外での新たなキャラクター発掘及び海外の最新トレンドを日本へ情報提供する等を主な事業コンセプトとし、来夏ごろからの本格稼働を目指して、北米での現地法人設立準備を進行中。

また、2010年秋オープン予定のラウンドワン北米1号店への景品供給窓口として展開を予定。(※別紙ご参照ください)

# 配当および業績見込み

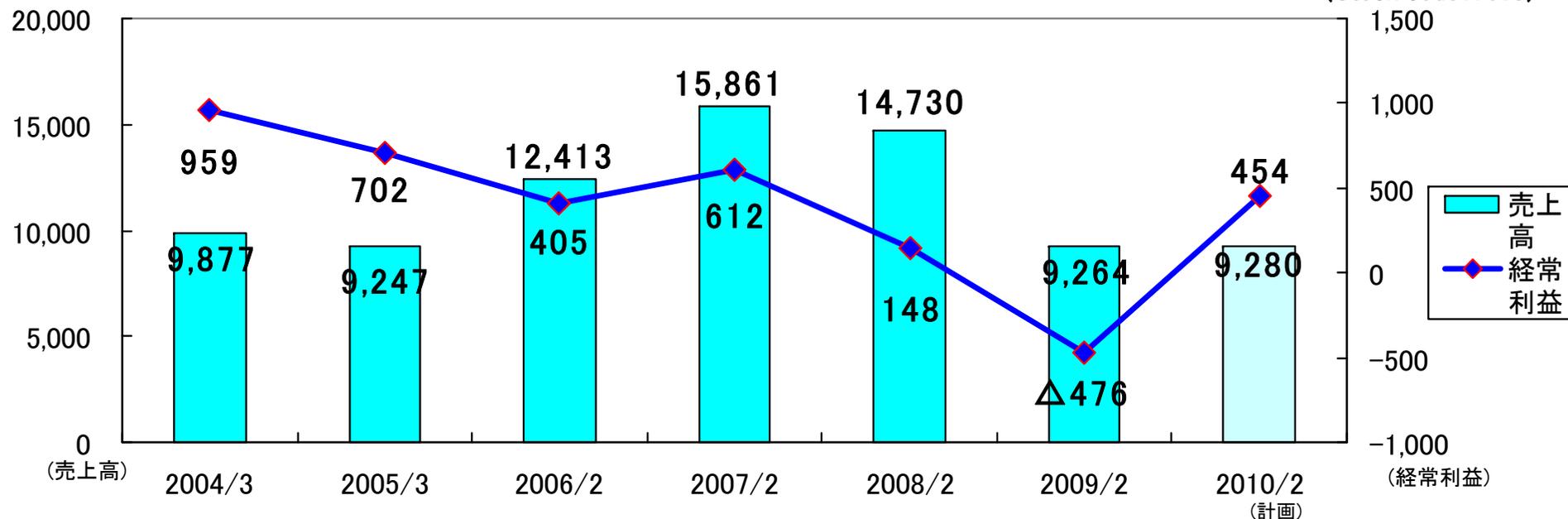
# 株主還元

当社は株主還元として年12円(中間6円、期末6円)の配当を基本にし、計画を上回る利益が見込める場合は、増配もしくは株式分割を実施することを経営の重要課題としております。

	2002/3	2003/3	2004/3	2005/3	2006/2	2007/2	2008/2	2009/2	2010/2 (予定)
株式分割	—	1:1.3	1:1.2	1:1.3 1:1.1	—	—	—	—	—
配当金	13円 (うち記念 配当1円)	16円 (うち記念 配当4円)	17円 (うち記念 配当5円)	20円 (うち記念 配当8円)	14円 (うち記念 配当2円)	14円 (うち特別 配当2円)	12円	9円	14円 (うち記念 配当2円)
増配	大証2部 上場記念	東証2部 上場記念	阪神 タイガース 優勝に伴う 好業績 に対して (※)	東証 大証 1部上場 記念 創立15周 年記念	阪神タイ ガース 優勝  (※)	当初の 計画を 上回る 好業績 達成			創立20 周年記念

(※)SKグループは阪神タイガースグッズを企画販売し、また阪神タイガースオフィシャルショップをナカヌキヤ広島本通り店で展開しており、グッズの企画販売を通して阪神タイガースを応援してきたことによります。

# 2010年2月期 通期業績見込み (単位:百万円)



	連 結			単 体		
	10年2月期予想	09年2月期実績	予想増減率	10年2月期予想	09年2月期実績	予想増減率
売上高	9,280	9,264	0.2%	5,900	5,219	13.0%
営業利益	422	△437	—	340	△233	—
経常利益	454	△476	—	400	△248	—
当期純利益	360	△789	—	290	△494	—

2010年1月12日に業績の上方修正を発表しました